

「生きる」を  
味わい尽くせるのが  
ここにある

福島県会津若松市

金山町小栗山

移住者

Interview 1

ほし たくや  
星 琢也さん

移住年：2020年  
職業：農業、林業



1



2



3



4

①大自然に囲まれ農業を楽しんでいます  
②今年もたくさん収穫できました  
③、④星さんお手製の木工品



前の会社を辞めてからバックパッカーでアジアを旅してたんです。インドの宿で偶然に金山町から来た方と出会ったんです。翌日は一緒に沐浴をしたりして、金山町での暮らしを聞き惹かれていきました。帰国後は会津若松市に住んでいました。会社への就職は考えてなく、どこか移住先を探していたところインドで出会った方に会うために金山町に遊びに行きました。その方の生活を直に見てお金に頼らない、人間の自然な暮らしを深いところまで探求し

金山町への移住のきっかけは何ですか？

ん。ゲストハウスへの宿泊や海沿いのサイクリングを体験し、ローカルの魅力に惹かれていきました。会社を退職後にアジアを4カ月ほど旅した際にインドで運命的な出会いがありました。出会いがあつて、ご縁があつて、旅の延長線上で金山町に移住した星さんは毎日新しい発見や学びがあり、自然や人に恵まれた生活を満喫しています。



福島県会津若松市で育ち大学を卒業後に航空会社に就職し、日本中を旅していた星さん

まだ移住してから2年経ってないくらいなんですけど、春から冬までは山菜を採ったり畑をやったりしています。山菜の種類や食べ方、農作業のやり方は地元の人や金山町で出会った友人から教わっています。今年は味噌や梅干しの仕込みにも挑戦しました。自然に寄り添った暮らしができて今の生活には満足しています。他には地元の木工さんや林業の手伝いをしていきます。手伝いの中で地元の人との関わりも増えますし、自分の技術も磨けますので今後も「木」に関わるようなことをしていきたいですね。先日も近所の人が、自宅の木が邪魔で困っていたのでお手伝いで伐採したことがあります。自分の経験を生かすことができ、お礼にご飯ももらってしまつて田舎で生きていくことの自信につながりました。冬は町の除雪隊に入り道路の除雪をしています。自分の家の除雪もしなきゃならないので大変ですよ。その合間を見て町が主催しているマタタビ細工の教室にも参加しました。

普段はどんなことをしていますか？

実践していることに感銘を受け、金山町へ移住することを決めました。もしインドであの方に会わなかったら金山町は知らないままでどこか南の方に住んでましたね。

自然の中で

自分の人生を生きよう！



埼玉県鴻巣市

金山町太郎布

移住者

Interview 2

はちす ゆうま  
八須 友磨さん  
たまき  
環さん

移住年：2018年  
職業：農家民泊経営



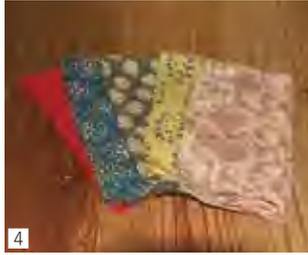
1



2



3



4

①農家民泊「みみをすます」  
②自分たちで改修した古民家  
③こだわりの薪ストーブ  
④環さん手作りのヘアバンド

**profile**  
金山町の友好都市である埼玉県鴻巣市出身の八須さんはアラスカや冬の東北をめぐる旅の中で金山町と出会いました。金山町では地域おこし協力隊として活動し、令和元年に金山町のお隣の昭和村で織姫のOGである環さんと結婚。お二人は農家民泊「みみをすます」を開業。耕作放棄地を解消し、農家民泊で提供する作物の栽培を行うほか、自然素材で身の回りの物を製作するなど自然に寄り添った暮らしをしています。  
※織姫・・昭和村に居住し、からむし織と山村での生活を通して村人と交流を深める制度。  
※からむし織・・イラクサ科の多年草を使用した織物。古くから続く技術が評価され、「奥会津昭和からむし織」が国の伝統的工芸品に指定されました。

地域おこし協力隊任期終了後に農家民泊を開業したそうですが、工夫した点や苦労した点をお聞かせください。  
友磨さん  
この農家民泊は大工さんからアドバイスを受けほとんどを自分たちで

改修しました。改修に使った材料は町内で解体中の空き家からいたたいり、新品の材料も100%自然由来のものを使いしました。なんだか自然由来でないものを使うと気持ちよくない自分がいるんですね。ここはこだわりました。  
苦労したところでいうと、やっぱり資金面ですかね。地域おこし協力隊起業支援金を活用したり、貯金を切り崩して改修費用に充てました。来月の支払いをどうしようっていう時もありました。  
金山町で今後どのようなことをしていきたいですか？  
環さん  
今の生活のままで自分のペースで忙しくなく、農家民泊の運営や農業したり身の回りの物を作ったりとやっていきたいですね。  
友磨さん  
今の生活でやっていることの技術をもっと高めていきたいですね。薪割り一つでも心に不安があると薪が体に当たったり、身体が痛くなったりと未熟さが出るんですね。農作業とかでも同じですね。今の生活スタイルが落ち着いてきたらもっと新しいことにも挑戦したいと思っています。

# 地域の方に見守られながら 子育ても親育ちも



福島県会津若松市

金山町大志

移住者

Interview 4

こうざし かおり  
上指 花緒里さん

だいき  
大樹さん

いちば ふたば  
一葉ちゃん 二葉ちゃん

移住年：2015年

職業：団体職員



1



2



3



4

- ①お地蔵様へお参りに行きました
- ②沼沢湖で楽しいキャンプ
- ③雪とのふれあい
- ④金山町移住支援センター  
(一社) 金山町観光物産協会内  
TEL：0241-42-7211

(公式LINE)



●お問い合わせ先  
金山町役場企画課  
福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393  
TEL：0241-54-5203

**profile**

両親の実家が金山町にあり幼いころから町に親しみがあった上指さんは、只見川の景色と温泉に惹かれ移住しました。移住後に結婚し、大自然に囲まれた環境で夫の大樹さんと共に子育てに動んでいます。また、持ち前の明るさや自身の移住の経験を活かし、金山町の移住コーディネーターとして情報発信や移住を希望される方の相談に応じています。

## 金山町の子育て環境はいかがですか？

子育てを考えると都会よりも、子供がのびのびと自然に触れられる金山町の方がいいと思いますよ。同世代の家族同士で夏は沼沢湖でキャンプや湖水浴をしたり、冬はスキー場で雪遊びをして楽しんでいます。四季を肌で感じながらめいっぱい遊ぶで学べる環境です。あと、毎日温泉に入れるのも金山町ならではの嬉しいところですね。近所の人たちもみんな知り合いなので、温泉に親子で入る時も自然と誰かが子供たちを目にかけてくれるので、とても助かります。

他にも金山町は子育て支援がすごく多くてとても助かっています。保育園やチャイルドシートの貸出しが無料なので、その子供の学びにお金を使えます。うちの子はふたりとも幼児ですが、小学校や中学校に入ると制服や運動着が支給されたり、夏休みは学習塾も運営してくれるんですよね。

**移住コーディネーターを務められているようですが、どのような活動をされていますか？**

今は移住を考えている方に空き家情報や仕事等の情報提供を行っています。他にも各地区の行事や雪かきの仕方などの細かな暮らしの情報もお届けするように心がけてます。私も自身も移住者なので、「この時困ったなあ」っていう経験を生かして移住される方に情報提供をしています。移住相談される方も多く、おかげさまで毎日忙しくさせてもらっています。今後は移住者と地元住民が交流するようないイベントも企画できればと思っています。